



今年度、町ボラ連に加盟した「あいかわ町災害ボランティアネットワーク」です。(略称 ASVN) 私たちの団体は、平成21年5月設立で、会員数13名です。防災・減災に関する知識と技術の普及を主な目的としています。

○ミッション 自分の命は自分で守る
生き残らなければ 何も始まらない

○主な事業

- ・住民提案型協働事業
 - 25・26・27年度 地域密着型災害ボランティア養成講座
 - 28年度 愛川町立3中学校での防災・減災教室
- ・愛川町危機管理室・愛川町社会福祉協議会の防災教室への協力
- ・ふるさとまつり、ふれあい広場に参加「新聞紙でスリッパづくり」
- ・町内諸団体との協力、連携



新聞紙スリッパで歩く

10月5日(水) 第65回神奈川県社会福祉大会受賞者 (敬称略)
神奈川県社会福祉協議会長感謝

- 愛川レクリエーションクラブ 高木 姫代子
- 愛川町食生活改善推進団体味彩会 尾籠 茂子
- マジック愛川クラブ 中山 敏男

10月29日(土) 第35回愛川町社会福祉大会受賞者
愛川町福祉表彰、福祉功労表彰

- 愛川町食生活改善推進団体味彩会 熊坂 君代
- 愛川町社会福祉協議会表彰・善行者感謝
- 愛川レクリエーションクラブ 竹本 多恵子
- マジック愛川クラブ 宮川 雅恵



平成28年度受賞された方

編集後記

猛暑と例年になく台風の数など、不順な天気にも悩まされて過ごした1年でしたが、ボランティアのつどい、ふれあい広場や福祉のひろば・わいわいスペースでは、皆さんとボランティアの交流の場が設けられ楽しい時間を共有できました。日々、仲間と一緒に励んでいるボランティア活動から、逆に私達は元気や前向きな気持ちももらっています。ボランティアは、できる人が・できる時に・できる事をする自主的な活動ですが、これからは仲間を増やし、絆を大切に、謙虚に、ぬくもりのある人間関係を共に築いていきたいと思っています。 K・U

愛川ボラ連だより

第11号 平成29年2月発行
愛川町ボランティア連絡協議会
愛川町角田257番地の1
(町社会福祉協議会内)
☎ 046-285-2111

愛川町社協 検索 [バックナンバーをネットで閲覧できます](#)

今年度の研修は、10月1日真鶴町立遠藤貝類博物館と真鶴半島の常緑照葉樹林の散策に行ってきた。愛川町を出発した時は曇り空でしたが真鶴に到着すると雨となってしまう、磯へ降りての観察は出来ませんでした。が、係の方の映像を交えた解説に、どんどん引き込まれてしまいました。逗子海岸で取れた貝類の標本を見た時、小学校の夏休みの研究課題に貝の標本を提出した事を思い出し、大変興味深く感慨深いものがありました。

遠藤貝類博物館は、真鶴出身の貝類研究家、遠藤晴雄氏が私財を投じ生涯をかけて収集した貝類コレクション4,500種、50,000点が収められています。江戸時代に江の島で見つかったという大変珍しい巻貝、オキナエビスという世界で3番目に相模湾で見つかったという巻貝や、細胞が集まっただけのカイロウドウケツ(カイメン)動物も手に触れる事が出来ました。軟体動物の内、貝殻が体をおおっているも



真鶴に研修視察

のを特に貝類といい、不思議な形や美しい色をしたものを数多く見る事が出来ました。また、三ツ石海岸、海に親しむイベント「海のミュージアム」では季節ごとに開催され漂着物を探して観察をし、最後に海へ返すということです。私達は体験出来ませんでしたが、汲み上げた海水の中のプランクトンを顕微鏡で見ることができました。磯料理での昼食、舟盛りに満足・満足。そして午後の研修は神奈川県天然記念物、真鶴

半島の常緑照葉樹林の散策でした。主に江戸時代に植えられたクスノキ、そして自然植生であるスダジイ等の巨木が多く存在しています。江戸時代の小田原藩、明治期の皇室の御用林を経て町有林となり保護されてきたそうです。平成21年に県の天然記念物に指定されています。午後からは薄日も差し込み、樹林を散策し帰路につきました。

録音ボランティアグループ
かえでの会 野尻 礼子



「真鶴で見つかる貝」展示ケース



ふれあい広場

～ 友情の輪を広げて～

9月10日(土)、青空のもと「ふれあい広場」が田代運動公園で開催されました。時折吹く風に秋を感じた日でもありました。

「ふれあい広場」は今年で35回を迎え、人々とのふれあいが楽しい行事の一つでもあります。愛川町社会福祉協議会と愛川町ボランティア連絡協議会(加盟団体)との共催で行われています。力強い太鼓の演奏から始まり婦人団体連絡協議会の方の「あいちゃん音頭」で盛り上がりました。模擬店の豚汁やカキ氷を毎年楽しみにしている人も大勢います。

交流ゲームでは「グランドゴルフ」「大声コンテスト」「缶つま」「ストラックアウト」など

いろいろな遊びがありますが、中でも「魚つりゲーム」は子ども達に大人気でした。小さなお子さんから、おじいちゃん、おばあちゃんまで楽しめる遊びがいっぱいあります。

私達は日頃「レクリエーションの楽しさを届けよう」を合言葉にボランティア活動を続けています。このように人とふれあい、会話をし、遊び、笑う事で元気になり明日への活力になっています。皆さんも是非一度足を運んでいただき、楽しいひとときを過ごされてはいかがでしょうか！！

愛川町レクリエーションクラブ
上條 直美

★ 小さなお子さんから大人も楽しく交流ゲームで (-_-) ☆ ★



缶つまゲーム



魚つりゲーム



スカットボール

愛川町ボランティア連絡協議会加盟団体の紹介です
連絡先: 社会福祉法人 愛川町社会福祉協議会
☎ 046-285-2111 (内線 3794)



©愛川町



模擬店・遊びコーナー
クイズコーナー等で
楽しんでいただけました

10月23日
福祉のひろば
わいわいスペースに参加して
あしぼ 遠藤 幸夫

第27回「あいかわ福祉のひろば・わいわいスペース」は、秋晴れの10月23日(日)、愛川町「ふるさとまつり」の協賛事業として、福祉センター内と福祉センター前広場で開催されました。

町内の福祉団体が、町民皆さんとのふれあいを通して、楽しみながら地域福祉について、知ってもらうために企画され、ニッパツ・ニッキ「軽音楽部」の軽快な音楽で盛りあげてくれる中、たくさんの催しが繰りひろげられました。

「愛川町ボランティア連絡協議会」加盟8団体は、クイズや掲示物での活動紹介、模擬店や遊びコーナーと盛り沢山の活動でした。

私達「あしぼ」は、遊びコーナーでスマートボール、スカットボール等を担当、今年は、子ども達が特に多

かったので、遊びコーナーは大賑わいで行列が出来たほどでした。

お姉ちゃんが幼い妹の面倒をみている微笑ましい姿、ハラハラして孫を見守るおばあちゃん、熱心に子どもの手助けしている私達の仲間を眺めていると、子どもと高齢者がふれあい、ほのぼのとして温かく絵になりますねえ。(-_-)☆

高得点を出し、ニコッと笑顔を向けてくれる子ども達に、いっぱいパワーをもらいました。

会場脇の植込み内に、「福祉ボランティアの町あいかわ」「好きですボランティア 小さな愛のわかる人」の看板があり、それを眺めながら、今回も、たくさんの町民の方々や子ども達とふれあい、心地よい疲れを覚え、仲間と共に満ち足りた一日になりました。

傾聴ボランティア なごみ



高齢者施設等で皆さんに寄り添いお話を聴かせてもらっています

マジック愛川クラブは創立 33 年となりました。その間、町内の皆さまに多くのご支援をいただきました。ありがとうございました。また、平成 28 年 11 月 20 日には、愛川町文化会館で第 5 回マジックフェスティバルを開催いたしました。230 名程の来場者があり、大変喜んでいただくことができました。「小さな力でも、継続することで大きな力となる。」というのが、今の心境です。微力ですが、これからも会員一同、アイデアを出し合い、技術アップを図りながら、ボランティア活動も続けていきます。よろしくお願いいたします。

マジック愛川クラブ

愛川町食生活改善推進団体 味彩会



各種イベントに参加し、生活習慣病予防、食育および高齢者の食に関する活動をしています。養成講座に1年間受講し、入会していただきます。

愛川国際交流クラブ



愛川国際交流クラブは、多様化する価値観の中において異文化交流活動を行い、積極的に相互理解を深める活動をしています。